



平成 30 年 1 月 10 日 第 53 号

日立市高鈴町 1 丁目 4 番 10 号

日立メディカルセンター看護専門学校

変針

日立メディカルセンター看護専門学校長 末永 仁

明けましておめでとうございます。准看護学科の資格試験と、看護学科の国家試験を控えた学生さんたちはお屠蘇を味わう時間も取れない新年だと思えます。あと少しの試験までの時間をどうか有効に使ってください。

もう何度もお話ししてきたことですが、今年、当校はその将来の有り様について、大きく方針を変えることとなります。極めて危機的状況にある日立医療圏の看護師数の問題を解決すべく、現在の昼間の准看護学科 2 年、夜間の看護学科 3 年（2 年課程定時制）の教育制度から高校卒業以上で入学できる昼間の看護学科 3 年（3 年課程）で 1 学年 80 名の教育制度に順次移行します。この変針には大きな問題が山積みです。この舵取りが正しいのか、誤っていたのか答えが出るのは 10 年後、20 年後になると思えます。しかし、今舵を切らなければ、変針しなければ、日立医療圏の医療現場、介護現場は致命的な看護師不足に襲われるでしょう。今が変針の時だと思うのです。

これから少子高齢化が日立市は全国平均を上回って進むことが予想されています。そんな中で定員を倍増して臨む今回の方針の成否の鍵を握るのは、将来の受験生にどうやって当校に対する興味を持ってもらうかという事です。この事に対し、現役学生の皆さん、OB の皆さんたちの経験や意見をご自分の出身校の後輩たちに伝えていただく事がとても大きな役割を果たしてくれると思っています。どんな小さな機会にでも構いません、ご自分の後輩、知人、親戚などに、看護師という職業の崇高さ、人の命に関わる事の緊張感、資格の安定感、資格の拡張性（助産師や専門ナースの資格を取れる可能性など）、そして何より新しい知識が次々出てきて、一生勉強し続けられる事、こういう素晴らしい事を周りの人に伝えて欲しいのです。

長い人生のうち、看護学校にいて勉強をしている時間はほんの一瞬です。その、人生から見たら本当にわずかな短い期間、必死に勉強することで自分の将来を安定化させ、何よりも人の役に立ち「ありがとう」と言ってもらえる存在になる事ができます。現場は常に勉強の場です。資格を取った後も常に先を見て、学校での座学ではない勉強をずっと続けていってください。

私は今年、年男で還暦を迎えます。しかし、まだまだ勉強です。なにせ、目の前にあれだけアグレッシブな年男（ふた回り上ですよ!!）、齋藤義雄メディカルセンター理事長がいられますから。生きている限り勉強、見習わせて頂きます。

ミュージカル鑑賞

看護学科1年

私は2回目のミュージカル鑑賞でしたが、今回のアラジンもとても感動しました。元々アラジンの話や曲が好きだったので、とても期待していきました。

今回のミュージカルは、キラキラした衣装が多く華やかな印象を受けました。また、ダンスのシーンもたくさんあり観客を楽しませる場面は盛り上がりました。一番楽しみにしていた絨毯に乗って歌うシーンはとても感動的でした。絨毯の動きが滑らかで素晴らしかったです。実際に生で歌を歌うのを聞いて、素晴らしく鳥肌が立ちました。

今回の席は端だったので楽しめるか、少し心配していましたが、とても楽しかったです。端の人にもセットの裏側が見えないようになっていたり、ジーニー役がステージの一番前に立ち、すべての観客が楽しめるような盛り上げ方を工夫しているのが分かりました。

このミュージカルを鑑賞して、一番印象に残ったのはジーニー役の人の演技です。明るい役で見ていて、とても元気になりました。普段の仕事を思い出し、患者さんにもこんな気持ちになってもらいたいなと思いました。笑顔を増やし少しでも私とのコミュニケーションによって元気を感じてもらいたいと思いました。



戴帽式を終えて

准看護学科1年

私は、戴帽式を終えて改めて「頑張らなきゃな」、と強く思えた1日だった。戴帽の儀では1人1人ナースキャップを付けてもらい、重みや不安など様々な思いを感じた。初めて被らせてもらった感動、嬉しさもあり、考えや勉学に励む態度を引き締め、心を入れ替える良い経験になった。ナイチンゲール誓詞はたくさん練習したおかげで本番は間違えないで唱えることが出来た。最初は声がそろわずバラバラだったけど、朝、帰りに繰り返し練習すると、だんだんみんなでそろうようになり、とても達成感を感じた。「1人はみんなのために、みんなは1人のために」この言葉は本当にその通りだと思う。看護学校に入学して半年がたったが、看護師は「体調管理の大切さ」と「責任の重大さ」がわかった。戴帽式を通して看護師になりたいという気持ちがより一層強くなった。一生に一度のこの日を忘れずに立ち止まることがあっても初心を思い出してこれからの勉学、実習に励みたいと思う。また、辛い時は一緒に頑張る仲間と支えあい周囲の人たちに感謝の気持ちを持ち続けることが大切だと思った。将来は、患者さん1人1人に寄り添えるような優しい看護師になりたい。